

算数科 小学校 6年

単元名「図形の拡大と縮小」

本時の流れ（第4時）

本時の目標

○形が同じ図形の性質を使って、三角形の拡大図、縮図のかき方を考えてかく。

本時のめあての把握

- 方眼を使わないで3倍の拡大図をかくという課題を把握する。(教科書P.38 1の問題)

【めあて】

三角形ABCの3倍の拡大図のかき方を考えよう。

自力解決

- 形が同じ図形の性質を使って、三角形の必要な辺の長さや角の大きさを考える。
 - 対応する辺の長さは3倍
 - 対応する辺の角の大きさは等しい
 - 対応する辺の長さの比は等しい
- 合同な三角形のかき方を基にして、3倍の拡大図のかき方を考えて作図する。

- ☆児童の実態に応じて、導入で合同な三角形のかき方を想起させる。
- ☆かき方を考えさせ、必要な長さや角の大きさに着目させる。
- ☆かき方やその理由をワークシートに分かりやすく記述させる。
- ☆ヒントカードを用意して、必要に応じて個別指導する。

「活用」の力育成のために

拡大図をかくとともに、かき方の説明を書かせる。(ポイント①②⑤)

- ☆自分で考えた分類の仕方を分かりやすく説明できるように指導する。
- ☆自分で考えたかき方と比較しながら、かき方やその根拠を説明させることで、工夫した手際のよいかき方について考えを深めさせる。

集団解決

- 拡大図のかき方を発表する。
 - 3辺の長さを3倍するかき方
 - 2辺の長さを3倍し、その間の角を測るかき方
 - 1辺の長さを3倍し、その両端の角を測るかき方

「活用」の力を育てるポイント

- 自分の考えたかき方について、ワークシートに記述させ、考えを深めさせる。
- 説明する力を育てるために、自分の考えや解決方法などについて、ペア学習やグループ協議を設定する。
- かき方を分かりやすく説明し、他の児童のかき方と比べる話し合いの際、同じかき方をした者によりリレー形式で発表させたり、自分のかき方以外のかき方について説明させたりして理解を深めさせる。
- 縮図については、3通りのかき方のうち、拡大図での自分のかき方以外のかき方など複数のかき方をさせることで、理解を深めさせる。
- 作図に当たっては個人差が著しく、時間配分への配慮や個別指導が必要である。

「活用」の力育成のために

比較させながら、話し合わせる。(ポイント③⑤)

適応問題

- 三角形の1/2の縮図をかく問題を解く。(教科書P.38 2の問題)

「活用」の力育成のために

かき方を考えさせ、作図させる。個別指導をする。(ポイント④⑤)

学習のまとめ

学びの振り返りを書く。

HOME

単元の流れへ

授業展開例へ